

## 茅ヶ崎市成年後見制度利用促進基本計画の内容について

### ①市民・関係機関にとってわかりやすい内容にする

地域福祉計画、地域福祉活動計画、成年後見制度利用促進基本計画の一体化計画とするが、成年後見制度に関する計画を策定したことが伝わるようにする。市民の方が手に取って読んでもらえるようなソフトで簡潔なものとする。図やイラストを用いる。両面で 10 ページくらいを想定。

その上で、記載方法については、①章立て②混ぜ込み型③数ページのみ章立てし内容については混ぜ込み型の 3 パターンで検討中である。

### ②章立てのイメージ（案）

#### ①全国の現状

全国の成年後見制度の利用状況（申立件数の増加）

#### ②茅ヶ崎市の現状

茅ヶ崎市の成年後見制度利用状況（申立件数、対象者の推移）、成年後見制度の認知度及び希望（2000 人アンケート、高齢・障害アンケート）、成年後見制度に関する相談の推移、相談機関等への成年後見制度の認知度（包括・相談室・相談支援事業所向けアンケート）

#### ③現状から見えた課題

#### ④めざすべき姿

#### ⑤取組の方向性

#### ⑥計画の内容

### ☆重点的に示していきたい部分

「成年後見制度の利用に限らず、判断能力が不安な人への支援体制を構築する」

…高齢福祉、障害福祉、子育てに共通している部分。次期計画で取り組むべき課題の一つでありはざ間の問題、ダブルケア等、複数の分野にまたがり 1 つの機関では解決できない事柄が増えている。問題解決の一つとして、各分野と連携して支援体制を構築する。（相談対応は、住民の健康度の向上と行政コストの削減を目指し、「予防」に重点を置く。【福祉相談室の強化、コーディネーター配置事業、成年後見制度等…】）

⇒既存のネットワーク、取組を活用し、強化していく



### ☆茅ヶ崎市成年後見制度利用促進基本計画においての中核機関の位置づけ

中核機関が担うべき 5 つの機能（①広報機能②相談機能③利用促進機能④後見人支援機能⑤不正防止効果）を記載し、上記の☆重点的に示していきたい部分「成年後見制度の利用に限らず、判断能力が不安な人への支援体制を構築する」の中で中核機関の役割を落とし込むイメージである。